XDB60-23、XDB100-23 シリーズ

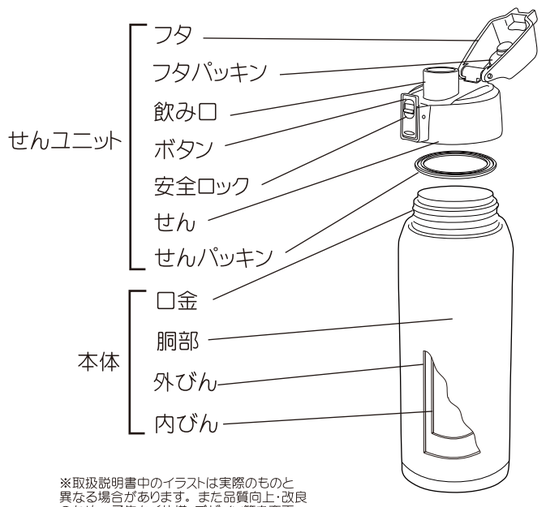
保冷専用　家庭用

取扱説明書

このたびは当社製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく使用して下さい。お読みになった後も、いつでも見られるように大切に保存してください。

各部の名称

ご使用前に、各部品が揃っていることを確認してください。



※取扱説明書中のイラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザイン等を変更することがありますのでご了承ください。

⚠ 警告

●乳幼児の手の届くところには置かないでください。ケガの原因となり危険です。

⚠ 取扱上の注意

ご使用になる時は、下記の事を必ずお守りください。

●品質保持のため、右図のような乾燥材を内袋に入れることがありますが、絶対に口に入れたりしないでください。

●飲料物の保冷以外に使用しないでください。

●飲料物の量は、右図の位置までにしてください。
入れすぎるとせんユニットを閉めたときに飲料物が溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になります。

●熱いものは絶対に入れないでください。
ヤケド等の原因になります。

●せんユニットはパッキンが正しく取り付けられている事を確認し確実に閉めてください。
漏れの原因になります。本体を逆さにして漏れない事を確認してください。

●次のものは絶対に入れないでください。
○ドライアイス・炭酸飲料
せんユニットを閉めると本体の内圧が上がり、せんユニットが開かなくなる、飲食物が噴き出す、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。
○牛乳・乳飲料・果汁等
成分が腐敗することがあります。
○みそ汁やスープ等・塩分を含んだもの
サビの原因になります。
○果肉・お茶の葉等
つまる、漏れる等故障の原因となります。

●冷たい飲料物を入れた時や湿度が高い時には、せんユニットに水滴が付く事があります。

⚠ 取扱上の注意

ご使用になる時は、下記の事を必ずお守りください。

●ストーブやコンロ等、火気のそばには近付けないでください。
変形・変色の原因になります。

●車の中など、高温になるところに放置しないでください。

●飲料物を入れた状態で長く放置しないでください。
長い時間放置すると、成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して本体の内圧が上がり、せんユニットが開かなくなる、飲料物が噴き出す、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

●落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
漏れや保冷不良の原因になったり、せんユニット等のプラスチック部分が破損することがあります。

●冷凍庫に入れないでください。
漏れや破損の原因になります。

●大きな氷を入れる場合は押し込まず、小さくしてから入れてください。
口部が変形し、漏れの原因になります。

●飲食物を入れて持ち運ぶ時は、せんユニットを上にして立てた状態で持ち運んでください。
漏れの原因になります。

●ポーチのストラップを持って振りまわしたり、強くひっぱたりしないでください。
振りまわすなどして人やものにあたると危険です。また、強く引っぱると、ポーチが破損する原因になります。

●パソコン・カメラ等の精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因になる恐れがあります。

●自動車や自転車の走行中には使用しないでください。
飲料物がこぼれ、ものを汚す原因になります。
又、運転時の注意が散漫になり、事故の原因になります。

●ご使用後は、必ずきれいに洗い、十分に乾燥させてください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となる恐れがあります。

●改造・分解・修理はしないでください。
故障・事故の原因になります。

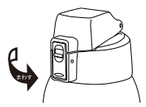
kyowa

ご使用方法

ご使用前に本体・せんユニットを十分に洗ってください。

①せんユニットを外す

せんユニットを矢印の方向にまわして、本体から取り外してください。



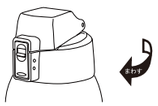
②飲料物を入れる

飲料物の量は、右図の位置までにしてください。
入れすぎるとせんユニットを閉めたときに飲料物が溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になります。

※あらかじめ少量の冷水を入れ、1分程予冷すると保冷に効果的です。

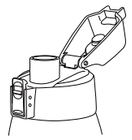
③せんユニットを閉める

せんユニットを矢印の方向にまわして閉めてください。せんユニットはパッキンが正しく取り付けられている事を確認し、確実に閉めてください。閉め方が不十分ですと漏れる事があります。



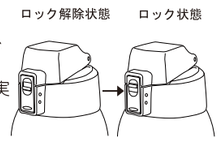
④飲料物を飲む

1. 本体を立てた状態で安全ロックを下方向にスライドさせて解除してください。
2. ボタン下部を押して、フタを開けてください。
3. 飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら飲料物を飲んでください。



⑤飲み終わったら

1. 本体を立てた状態で、フタをカチッと音がするまで押して、確実に閉めてください。
2. 安全ロックを上方向にスライドさせて、確実にロックしてください。



お手入れ方法

ご使用後は、その日のうちにきれいに洗ってください。

●お手入れは食器用中性洗剤を使用してください。
●長時間使用にならないときは、汚れを十分に落とし、よく乾燥させてください。高温多湿の場所を避けて保管してください。

①本体のお手入れ

スポンジやボトル用ブラシできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
本体内側の汚れが落ちない場合、酸素系漂白剤を使用してください（目安30分）。

※注意
●本体は水中に放置しないでください。
●酸素系漂白剤を使用する際は、本体はせんユニットで密閉しないでください。本体の内圧が上がり、せんユニットが破損することがあり危険です。
酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

②せんユニットのお手入れ

それぞれの部品をきれいに洗い、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。長時間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させてから保管してください。洗浄時にパッキンを外した後は、溝に合わせて確実に取り付けてください。

③ポーチのお手入れ

水または30℃以下のぬるま湯で軽く手洗いしてください。

お手入れ上の注意

お手入れの際は下記の事を必ずお守りください。

●本体・せんユニットを煮沸しないでください。
熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。

●食器洗浄機や食器乾燥機は使用しないでください。
熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。

●本体を水中に放置しないでください。
本体と底の隙間に水が入り、サビや保温・保冷不良の原因になります。

お手入れ上の注意

お手入れの際は下記の事を必ずお守りください。

●塩素系漂白剤は使用しないでください。
腐食や保温・保冷不良の原因になります。

●シンナー類・クレンザー・金属タワシ・化学ぞうきん等は使用しないでください。
サビやキズ、保冷不良の原因になります。

●本体外側には漂白剤を使用しないでください。
本体塗装・シール剥がれの原因になります。

●臭いが気になる場合は、ぬるま湯に食酢を加え、その中ですすぎ洗いしてください。

パッキンの取り付け方

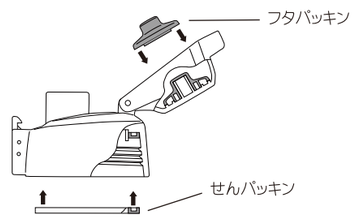
※注意
正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

●フタパッキンの取り付け方

フタパッキンの取り付け方向に注意して、フタ本体の溝に合わせて確実に取り付けてください。

●せんパッキンの取り付け方

せんパッキンの取り付け方向に注意して、せん本体の溝に合わせて確実に取り付けてください。



こんなときは・・・

分からないことがありましたら以下の項目をお確かめください。

症　状	点検するところ	処　置
●フタ・せんから漏れる	フタ・せんが閉まっていますか？	確実に閉め直してください。
	フタパッキン・せんパッキンが正しく取りつけられていますか？	正しく取りつけてください。
●保冷が効かない	十分に冷たい飲料物を入れていますか？	冷たい飲料物を入れてください。予め内びんを予冷しておくと効果的です。
	飲料物の量が少なくないですか？	氷をたくさん入れたり、飲料物の量を多くすると効果的です。

交換用部品のご案内

せんユニット・パッキンは消耗部品です。一年を目安に確認してください。
ゆるみが出てきたり、表面にザラつきや損傷がある場合は「協和工業㈱アフターサービス係」までお問い合わせの上、お求めください。
（※その際、商品の品番と部品名をご確認ください。）

○本製品の各部品は、下表の部品名で別売しています。

部品名
せんユニット（フタパッキン・せんパッキン付）
パッキンセット（フタパッキン・せんパッキン）

＜お問い合わせ先＞
輸入発売元　SINCE1956 協和工業株式会社
〒555-0001　大阪府大阪市西淀川区佃1丁目24番11号
TEL　06-6471-3539（アフターサービス係）
受付時間　10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 16:00（土日・祝日・夏季及び年末年始休日除く）